



講座番号 26-A-11

講座名 お茶の間の気象教室

第 2 金曜日

時間 13:30～15:30

定員 14

4月 10 5月 8 6月 12 7月 10 8月 9月 11

10月 9 11月 13 12月 11 1月 8 2月 12 3月

教授名 古川武彦

講座教室 パソコン実習室

☆教授プロフィール☆

1940年生、滋賀県米原市出身、1961年気象庁研修所高等部(現気象大学校)卒、潮岬測候所などの地方勤務の後、1964年気象研究所台風研究部に転勤、1982年に気象庁本庁に転勤後は、航空気象管理課長、予報課長などを経て、札幌管区気象台長。現在1個人で「気象コンパス」を主宰、理学博士。

☆講座概要☆

朝から晩まで、天気や予報が気になりますね。「雲」「アメダス」「気象衛星」などの観測システムから、天気図、台風・低気圧・竜巻・偏西風などの仕組み、さらに天気予報の技術まで、やさしく解説し、楽しく学びます。

☆講座詳細紹介☆

気象庁在職約40年の経験をベースに、おおよそ以下の内容について、パソコン(スライド)、インターネットを利用して解説します。基礎知識がない方にも分かるように説明するつもりです。気象庁や筑波学園都市の見学も予定しています。なお、実際の気圧計やラジオゾンデ、雨量計なども持参します。

1. 大気とその構造(対流圏、圏界面、成層圏など)
2. 種々の観測システム(地上観測、アメダス、気象レーダー、ラジオゾンデ、気象衛星「ひまわり」など)
3. 雲の種類と観測
4. 偏西風、低気圧、高気圧、前線、台風、竜巻などの仕組み
5. 天気図、等圧線と風の関係、天気図実習
6. 天気予報の種類と技術(短期予報、週間予報、季節予報、台風進路予報など)
7. 地球温暖化問題(温暖化のメカニズム、異常気象など)
8. 気象予報士制度、気象サービスの法制度など

* 資料代として 1,200円/年